

第3回門真市弁天池公園指定管理者候補者選定委員会 議事録

日 時：平成30年10月12日（金） 10：00～11：45

場 所：門真市役所 本館2階 第7会議室

選定委員：大阪府立大学 教授	下村 泰彦
大阪工業大学 教授	田中 一成
公認会計士	北岡 慎太郎
弁護士	塩田 千恵子
門真市まちづくり部長	木村 佳英
事務局：門真市まちづくり部次長	小野 義幸
土木課長	野崎 正文
土木課課長補佐	石峯 裕司
土木課係員	大山 和憲
土木課係員	岡 亮介

【事務局】

委員全員がお揃いになりましたので、ただ今より第3回門真市弁天池公園指定管理者候補者選定委員会を開催させていただきます。本日は委員5名中5名の委員のご出席をいただいておりますことをご報告申し上げます。開会に先立ちましてお手元の資料の確認をさせていただきます。上から順に確認をお願いします。

表紙が議事次第となります。

次に資料1、「選定方法及び採点について」でございます。

次に資料2、「第2次審査質問事項一覧」でございます。

次に資料3、「第1次審査結果報告」でございます。

次に資料4、「第2次審査基準表及び評価レベル表」でございます。

資料に不足等はありませんでしょうか。

本日、司会進行をさせていただきます土木課長の野崎でございます。皆様どうぞよろしくお願いたします。

本会議では議事録作成支援システムを設置しております。つきましては、委員の皆様方におかれましては、発言の際にはお手元の卓上マイクのボタンを押したうえで、ご意見等について発言頂きますようお願いいたします。また、ICレコーダーによる録音も併せて行いますので、ご了承ください。それでは、今後の議事運営を委員長にお願いしたいと存じます。委員長、よろしくお願いたします。

【委員長】

おはようございます。本日は本番のプレゼンテーションとなりました。この会議の当初からお話しさせていただいているように、この指定管理者制度は非常に公平性が求められるものですので、今日はしっかりプレゼンテーションを聞いて、適正な判断のもとに公平に審査してまいりたいと思いますのでご協力よろしくお願いたします。それでは次第に基づきまして進めてまいりたいと思います。まず、はじめに議第1、2次審査の方法へ移りたいと思います。本件に関しまして事務局より説明をお願いいたします。

【事務局】

第2次審査の方法についてご説明させていただきます。資料1「選定方法及び採点について」をご覧ください。本日はプレゼンテーション審査である第2次審査を行っていただいた後、第1次審査と第2次審査を合わせた得点を参考に、指定管理者候補者を決定する総合評価を行っていただきます。プレゼンテーション審査につきましては、事務局にて進行させていただきますのでよろしくお願いいたします。申請団体から提案に関するプレゼンテーションを10分以内で行っていただき、その後、各委員の皆様から所定の質問を行っていただきたいと思ひます。質問項目につきましては、資料2「第2次審査質問事項一覧」をご覧ください。こちらは、前回の選定委員会終了後から、各委員の皆様と調整を行い、それぞれご質問いただく内容を一覧にまとめたものとなっております。なお全ての質問が終了してもまだ時間が残っている場合は、再度補足で質問をしていただいても結構です。プレゼンテーションが終了した後、約20分程度、意見交換の時間をお取りしますので、審査において疑問と感じられる点や、他の委員のご意見をお聞きになりたい場合などは、この時間を活用していただき、併せて採点もお願いいたします。なお、審査基準表の記載方法は1次審査と同様です。意見交換が終了しましたら、事務局にて審査表を回収し集計作業に入ります。その間は一時休憩とさせていただきます。今回は申請団体が1社であることから、集計結果を以て申請団体を指定管理者候補者として選定してよいかについて、意見交換を行っていただきます。特に意見等無ければ、申請団体を弁天池公園指定管理者候補者として選定することとなります。参考として、第1次審査の得点を資料3「第1次審査結果報告」にまとめています。また、本市では、団体の役員等に本市の市長または議員が加わっていないか、団体の構成員に暴力団員または暴力団員と密接な関係を有するものはいないかという2点について、事務局から審査の前に確認させていただきますので、あらかじめご了承くださいようお願いたします。以上で、第2次審査の方法などについて説明を終わります。

【委員長】

ご説明に関しまして、委員の皆様から何かご質問ございませんか。

資料の2に記載のある項目を順番に質問するというところでいいのですか。プレゼンター

ションを基に質問を追加でする場合、これが済んでからになるのか、どうしようか考えていたのですが。その辺りの進め方について何かお考えがあれば教えて下さい。

【事務局】

質問につきまして、事務局提案でございますが、1番目に委員にご質問いただきまして、続いて委員にご質問いただきます。3番目に委員の方からも質問していただいて、その後、委員長及び委員に質問していただくと。そこで時間が余っている場合は、続けて質問していくという方向でよろしいでしょうか。

【委員長】

わかりました。各質問に関して、関連項目が出てくる可能性があるのですが、基本はそうさせていただきますとして、少し揺らぎがあるということで御理解いただくという形でよろしいでしょうか。司会進行が事務局となり、ネームプレートも取ってしまうようですので、指さして「委員どうぞ。」という形になろうかと思います。私からは以上ですが、他の委員、何かございますか。それでは事務局に司会進行をお戻しします。

【事務局】

それではプレゼンテーション審査を始めます。シルバー人材センターに入室してもらってください。

《シルバー人材センター入室》

【事務局】

どうぞ着席して下さい。それでは、プレゼンテーション審査の前に2点確認させていただきます。貴団体の役員等に本市の市長または議員が加わっていませんか。

【シルバー人材センター】

加わっておりません。

【事務局】

次に、貴団体の構成員に暴力団員または暴力団員と密接な関係を有する者はいませんか。

【シルバー人材センター】

ございません。

【事務局】

それではこれからプレゼンテーション審査を始めます。はじめに10分以内でプレゼンテーションを行ってください。終了1分前に合図をいたします。10分後にタイマーが鳴りましたら、直ちにプレゼンテーションを終了してください。その後、委員から質問を行いますので、簡潔明瞭にお答えください。なお、審査会で発言された内容はすべて記録され、貴団体が指定管理者として管理運営をしていただくにあたり、遵守すべき事項となりますので、ご承知おきください。はじめに10分以内でプレゼンテーションを行ってください。終了1分前に合図をいたします。10分後にタイマーが鳴りましたら、直ちにプレゼンテーションを終了してください。その後、委員から質問を行いますので、簡潔明瞭にお答えください。なお、審査会で発言された内容はすべて記録され、貴団体が指定管理者として管理運営をしていただくにあたり、遵守すべき事項となりますので、ご承知おきください。それではプレゼンテーションを始めてください。

《シルバー人材センターによるプレゼンテーション》
門真市情報公開条例第6条第2項の規定を準用し不開示

【事務局】

ありがとうございました。これから質疑応答に入ります。それでは委員の皆さまご質問をお願いいたします。

【委員】

防災への対応が凄く信頼できるなという印象持ったのですが、公園で実際に災害が起きた時に、具体的にはどのような対応されるとか、こういった用意があるといったことについてお話お聞きできればと思います。

【シルバー人材センター】

直近の例でございましたら、台風21号について、門真市域ではおかげさまで大規模な被害等はなかったと思うのですが、私どもは朝から事務所に詰めまして、定時の5時、6時ぐらいまでは公園の中で来場者が来るかどうかを確認していました。幸いああいいう強風でありましたのでいらっしゃらず、事故もなくありがたかったですけれども。夕方、風が落ち着いた時間帯に倒木等の確認をしまして、翌日は、東側に寝屋川市と接している車の通行量が多い道路があるのですが、そこで倒木があったため、朝から職員はもちろん、従事していただいている会員さんや近隣に住んでいる方にもご協力いただきまして、全力で通行を確保しました。建屋等について、危険な場所には、市の指示のもとで迅速に立入禁止とさせていただいたつもりであります。幸い我々が稼動中に地震や火災等はありませんので、今回の台風への対処が100点ではないですけれども、何とか市民の安全を守るこ

とができたと思っております。

【委員】

ありがとうございます。そうしますと、通常の常駐以上の人員を導入されて対応にあたられたと解釈してよろしいでしょうか。

【シルバー人材センター】

そうでございます。会員は全員門真市民でございますので、すぐに到着することは可能でございます。

【委員】

わかりました。これまでフェスティバルを開催されてきたという点がアピールポイントだとは思いますが、例えば類似の施設等で同様のイベントを行った実績等はお持ちでしょうか。

【シルバー人材センター】

市民プラザという施設で、私どもとそこの指定管理者とNPO法人等と一緒にしています。今は朝市という名前で開催していますが、門真もん市というものをやらせて頂いています。門真でできたものであるとかをみんなでご披露させていただいて、売らせていただくというようなイベントです。これを毎月開催させていただいております。また、シルバー人材センターの事務所と市役所のロビーをお借りして、シルバーのPRとイベントを月2回開催しています。その他、門真市主体のスポーツ・レクリエーション大会や門真祭り等のイベントに参加及び協力をさせていただいており、ボランティアも100人単位程で出させていだいたりもしています。

【委員】

わかりました。ありがとうございます。以上です。

【委員】

公園には常駐の方がいらっしゃるということで、常駐の方というのは、イベント等であれば当然それに携わると思いますが、何も無い時というのは何をされているのでしょうか。

【シルバー人材センター】

職員1名を含め会員のうち常駐する方が1名、何かあった時は合計3名で動いていて、公園の管理時間は9時から5時までで、門真市で一番大きな公園でありますので、通常、平穏な気候のときであれば来場者の方が夕方にかけて来られます。あとは、犬の散歩

とかですね、軽くジョギングされる弁天池公園のファンの方もたくさんいらっしゃいます。よく来られる方はゴミもちゃんと指定の場所に捨てていただけるのですが、やはり大きな公園でありますので、色々な所にごみが散在するということがまず1つあります。2つ目は、植木とか花が多いため、今からの時期は風で落ち葉や枯葉等が園内に散らばりますので、その辺の掃除等です。ちびっこ広場等は天気がいいと、人が多く来られます。ジャングジム等の遊具もありますので、その目視確認や、実際に足を乗せて使用にあたって支障がないかどうかの確認といった点検を9時から5時までの間に行っています。また、会員の方はまじめな方が多いので、自分で一日のテーマを決めて、例えば今日は北側の道路をきれいにする等、1日毎に目標を完遂していただいて、なんとか美観及び安全を維持できていると考えております。以上でございます。

【委員】

次に、提出頂きました申請書類のうち、様式第3号の管理業務収支計画書の部分ですが、その中の収入の項目で1つ目が指定管理料、2つ目が駐車場の利用料金、3つ目が自販機の収入ということで3つ書かれていたと思うのですが、駐車場の利用料金や自販機の収入以外に何か収入を予定されていくといったことはあるのでしょうか。

【シルバー人材センター】

併設しているパーキングと自販機の収入を計画書に記載していますが、それ以外では、営利目的でないといいますか、各自治会様のお祭りでありますとかイベントでありますとか、そういうのをアシストさせて頂いております。例えば夏場でしたら近所の岸和田自治会さんが盆踊りをされます。盆踊りですから。夜間の6時から9時まで、設営撤去等入れますと11時位までになるのですが、その辺は年間通じて安全確保を目的として援助しています。また地域の方々が十分に堪能していただけるように、我々職員と一部従事している者がアシストさせて頂いております、収入はありません。

【委員】

次に、駐車場の利用料金は年間89万円、月でいいますと7万4千74円となっていて、内訳見ますと再委託と書かれています。これはどういう意味でしょうか。

【シルバー人材センター】

駐車場はおおよそ30台程入ります。また、〇〇〇（門真市情報公開条例第6条第2項の規定を準用し不開示）という会社に設備及び運営は全てお任せしています。ただタイムパーキングなので、常時管理する方がおられません。公園に来られた方が駐車場でゲートが上がらないなどの細かい問題があれば、弁天池公園の事務所の方に来られますので、センターの鍵等をお預かりして対応しています。そういった意味で再委託と記載しています。

【委員】

では〇〇〇（門真市情報公開条例第6条第2項の規定を準用し不開示）という会社から確実に7万4千74円をいただけるという認識でよろしいでしょうか。

【シルバー人材センター】

平均的な利用台数がおおよそわかりますので、それに対するパーセンテージで頂いています。

【委員】

価格が変動するということですか。

【シルバー人材センター】

価格は変動いたしません。

【委員】

では、この毎月7万4千74円は、駐車台数に関わらず、一定額を頂けるということで見積もられているということですね。逆に、にシルバーさんが運営された場合、これ以上に儲かるということはありませんか。

【シルバー人材センター】

可能性はありますが、設備も準備しないといけません。設備、防犯カメラも含めて全て委託していますので。

【委員】

どちらかというとシルバーさんは場所を提供しているというイメージですね。

【シルバー人材センター】

その通りでございます。

【委員】

提出いただいた資料の44ページの管理を安定して行うための体制について、組織図を記載していただいています。先ほどの質問と被る部分もありますが、公園に常駐される方が、具体的にどの方で常時何名ぐらいいらっしゃって、臨時的な時はどのような体制になっているのかという部分について教えていただけますか。

【シルバー人材センター】

シルバー人材センターの職員で弁天池公園の責任者として常時従事していますのが、私、〇〇〇（門真市情報公開条例第6条第2項の規定を準用し不開示）でございます。その他に、会員さんが従事していただいております、通常時で延べ5名となります。9時から5時の間、平たく言えばワークシェアの形で時間が埋まる様に勤務していただいております。また、週末の土曜日、日曜日については4名の方、これもローテーションで夕方の6時から7時まで公園内に何か問題がないかについて、パトロールを約1時間お願いしています。従いまして、常時従事している人員といたしまして、私は専任として弁天池公園すべての情報を聞いて対処するようにしています。現場は、日中は5名、夜間は4名で従事してもらっております。何か緊急事態があれば、先般の台風時の対応もそうですが、私の方に連絡が来ます。今回は移動中でしたので、約1時間半後位には現場に入れたというような状況であります。

【委員】

指定管理者責任者の方は事務局の中の方が受け持っている。事務所長として常駐いただいている、公園スタッフとして通常5名の会員の方がいらっしゃる。夕方にはさらに増員していただいて、4名の方が点検に回られている。常時5名ぐらいいらっしゃるということですね。わかりました。

【委員長】

人員配置について関連質問なのですが、計上いただいております人件費に関しましては、ある1名の専任の方並びに5名の会員の方、4名のローテーションの方、あとABCという3人の方給与体系は実績として出ていますが、これは体制を変えられるという理解でよろしいですか。

【シルバー人材センター】

3名というのは。

【委員長】

給与体系でABCと記載のある給与表があったと思うのですが。専任の方は3名から1名に変えて、あとは会員、いわゆる責任のない方が5名と4名がお手伝いに来られて、責任のある方を1人として管理するという様な体制に変更されるという理解でよろしいですか。ページでいうと、82ページです。細かい表も出ていたと思うのですが。指定管理者費用の算定の中で人件費の計算をする時に、今で申し上げますと、まず公園管理に関しては1名の専任と5名と4名、あとの例えば草刈りやその他色々な管理をするときに、別途賃金は指定管理者の中で支払う。ですので、極端なことを言いますと、Dさんの給料はこ

の指定管理者費用から出ないという理解でいいのですか。

【シルバー人材センター】

御指摘の83ページの労働者名簿の写しについては、申請に際して職員の勤務条件を表したものです。

【委員長】

では、指定管理にあたっての体制ではなくて、シルバー人材センターの組織としてのお話という理解で良いですね。この指定管理者制度としてお支払いされる人件費は経営責任者と会員さんということですね。あと、追加の質問です。他の話になるのですが、都市公園というのは御存じのように、単なる広場ではなくてちゃんと植物が植えられていて、しっかりとした植生管理や植物管理、生物の育成というところで、一定の専門的な公園管理に関する知識や技術が必要になってくると思います。1つは例えばチェーンソーを使うための資格や、造園施工管理技士の1級・2級、ビオトープ管理者等、そういう方が何人かいらっしやって、単に木を切るのではなく、植物の枝のことを考えた管理をされる技術者をどれぐらいお持ちなのか。会員の方でそういう技術をお持ちの方は結構いらっしやるのでしょうか。

【シルバー人材センター】

センターの方にも当然剪定の技能等を取得している者もおりますし、植木管理の資格を持っている者もいます。また、高齢者ですので、高木等についてはシルバー人材センターと協力いただいております企業様へ外注させていただいております。ですから、その園芸会社さんであるとか、特に薔薇や菖蒲については専門技術が要りますので、その分はまた別の会社へ委託しております、そこのアドバイスも受けながらやらせていただいております。

【委員長】

非常に適切だと思います。特殊庭園の管理というのはかなり高度な技術が要りますし、生育方法もかなり大事だと思いますので、外注に出すかもしくは資格を取れるような会員さんについてご指導もいただくと、自然生態系に配慮した公園にさらに近づくかなと思います。あともう1点、イベントを開催されているということですが、指定管理制度というものはなかなか難しく、今までの内容で良かったからといって、次もそれで良いというわけにはいかないというのは他の市町村もそうでした、今年は去年に比べてさらにバージョンアップするという、毎年度における市民サービスの向上がかなり大事だと思っております。スプリングカーニバル等、年2回の大きなイベントを実施されていて、賑わっている様子は非常に見て取れました。しかし、映像を流していただくのも結構なのですが、自

治会とどれだけ連携されているとか、小学校まで巻き込んでいますとか、保育所の方にこれだけ声をかけていますといった様な実績を示していただいて、今年はさらに学校教育施設も巻き込み、より一層サービスを広げたいとか、公園を通じてコミュニティーをもっと広げたいとか、そういう点をもっとあれば、楽しみだなということになって来るのです。今のままでもいいのかもしれませんが、何かもう一工夫、今後5年間に向けた取り組みについてお考えがあれば、お聞かせいただきたいと思います。

【シルバー人材センター】

先ほどにも申し上げましたが、近隣の自治会、具体的には岸和田の自治会ですとか地域会議とも常に連携をしております。ですので、今後はさらにそこに力を入れて、私もシルバー人材センターですので高齢者との関わりは既にあるのですが、高齢者に関わらず、地域の世代を超えたすべての方を巻き込んで、それこそ地域をつなぐということを目指しております。それが今回指定管理者の応募をさせて頂いた最大のきっかけでもあります。

【委員長】

非常に力強い言葉を頂き、ありがとうございます。毎年このイベントは運営面で協力して頂いているNPOや、単にイベントに来られている組織、お声かけしている小学校、保育所も含めてどれぐらいの組織が参画されていて、何人来ているかという様な実績を5年間に積まれると、頑張ったという証拠になります。実績を紹介して数値的にこれだけ頑張っているというのを証明することは必要だと思いますので、努力されたらいいかと思います。そういったものはまだ無いのですよね。

【シルバー人材センター】

データとしては持っています。実績表も毎年作成しています。参加人数としては3000名～5000名ほどです。

【委員長】

そうですか。わかりました。人数は先ほどもお聞きしたのですが、重要なのは組織が広がったという部分です。

【シルバー人材センター】

開催にあたっての要綱等をまとめたものを毎年門真市には提出しています。今日は手打ちではございませんが。

【委員長】

そこが重要ですね。参加者数が増えるということと、運営していく仲間が増えていくというところが。

【シルバー人材センター】

弁天池公園のイベント実行委員というものを立ち上げておまして、シルバー人材センターだけでなく、委員長も外部団体からお声掛けさせて頂いて、皆さんで考えながらこのイベントをやろうということで。特に最近ではテーマを決めていて、今年は「子供の未来は大人が創る」ということで、11月23日にやらせていただく予定をしています。今も着々とその準備をさせて頂いております。

【委員】

先ほど人員の配置についての質問があって、その回答の中で、会員さんが延べ5名常時従事していて、夜間は4名、という話があったと思うのですが、会員の方との契約の関係がどういった形になっているか。例えば、業務委託なのかといった部分について教えていただけたらと思います。

【シルバー人材センター】

現状、請負という形になります。

【委員】

労災の関係はいかがでしょうか。

【シルバー人材センター】

シルバー人材センターと会員との関係は請負という形になります。ですから、普通にシルバー人材センターで仕事をして頂いている場合、労災は適用されない形になり、これは法律上でもそうなっています。今は派遣もできますがその場合は別として、この業務は請負でさせて頂いて、シルバーで受けた仕事を会員に再委託という様なイメージで考えていただけたらと思います。清掃であれば清掃の部分だけを会員さんが請負い、公園管理であれば公園管理の部分だけを請負うという形になります。労災に関わらない関係もありますので、これは国の指導もありまして、シルバー人材センター専用の保険があるのです。それに全員加入されておまして、賠償責任も事故の場合も、保険の対象とさせて頂くという形になります。

【委員】

ありがとうございます。安心いたしました。あと、別の箇所になりますが、資料の43

ページ、先ほどプレゼンテーションでもお話があった設備の維持管理等に関するところですが、私もこの前初めて弁天池公園に行かせて頂きました。木製遊具が少し古くなってきている気がしたことと、子供が遊ぶような遊具が少ないなと思ったのですが、その辺りどういう風に捉えていらっしゃるか。あと先ほど、遊歩道の整備をしますとあったのですが、それについて具体的にご説明いただければと思います。

【シルバー人材センター】

ジャングルジムの様なつり橋であるとか、岩の山、そこは噴水が出る様にしています。子供たちが遊びまわる施設は木造で鉄のワイヤーを通してありますが、目視点検は100%として、週に何回かは実際に上を歩いており、安全点検は滞りなくできていると思います。遊具が少ないというのは以前からの懸念までは行かないですが、頭の中にはあります。今の弁天池公園の中でもジャブジャブ池を主体として考えており、対象は小学校低学年から下で、お母さんとお父さんと子供と一緒に来て歩いて、夏場の暑い時はパラソルの下でお弁当を食べたり、足をつけて水遊びが出来る施設となっています。ジャブジャブ池について、洗浄しないと藻までいかないですが、ごみ等が詰まります。寒い時はやらないのですが、夏場、4月から9月までについては1月半に1回ぐらい、会員さんを朝から4人投入しましてタワシ等で付着物を取って綺麗にしています。常にきれいな水で小さい子供たちが遊べる、その辺りを主眼に考えております。遊具が少ないのは場所の問題もありますが、今の御指摘を受けて、考えていかないといけない課題だと認識しました。遊歩道につきまして、ちょうど南側の方にある樹木の間で少しくねった歩道で、実際に朝・夕と必ず通る方もたくさんいらっしゃいます。一部ブロックで歩道を明示しているのですが、高木が茂ってきています。もちろん我々が日常業務の中で綺麗に刈っているのですが、どうしても境目がわかりにくくなってくるので、歩行に安全な丸石のブロックを両サイドに設置します。今、一部やりかけていますが、歩道の幅も少し広がります。これらは日常業務の中でやっております。基本的に自転車で通って頂くということは想定していません。以上です。

【委員】

場所は芝生広場の南側のこの辺りでしょうか。

【シルバー人材センター】

その通りです。

【委員】

ありがとうございます。木製遊具の安全点検をきちんとして頂いているということですが、やはり事故が起きると困るので、また点検等の専門家にも見ていただくことも考慮していただければと思います。

【委員】

収入について再度確認したいのですが、管理業務収支計画書というのは収入があって支出がある、それが全くイコールで差引0になるのですが、支出から駐車場の利用料金とか自販機による収入を差し引いたものが指定管理料になり、それが税金でお支払いする金額となります。収入の方で利用料金とか自販機の収入が増えれば指定管理料が低くなるということですね。そこで確認したいのが、各利用料金が一定ということですが、値上げ交渉をされる予定はございますか。

【シルバー人材センター】

これは毎年といっていいほどさせて頂いています。まず自動販売機は最近状況も良くないということで、上げていただくよりもむしろ下げる方向に向かっているという話になっています。駐車場もあの場所なので利用が少ないらしく、当初の業者さんの目論見よりも実際は少なかったこともあり、かなり厳しい交渉をさせて頂いています。なので、上げていただくというのは難しいかなという状況です。

【委員】

では、現状業者さんは赤字ということですか。

【シルバー人材センター】

赤字ではないけれども、なんとか運営させて頂いていると思われています。

【委員】

自動販売機もどこかに委託を出されているのでしょうか。

【シルバー人材センター】

数社に見積をだして、一番良い金額を提示していただいた業者さんをお願いしている形です。

【委員】

では自動販売機もシルバー人材センターさんで管理しているわけではないのですね。

【シルバー人材センター】

その通りです。自動販売機を置かせて頂いて、収入の一部を頂いています。

【委員】

その金額は固定ですか。

【シルバー人材センター】

固定ではありません。売れた金額に対する割合です。

【委員】

夏場は売り上げも当然増えると思いますが、売り切れになっている場合とかは誰がどう管理しているのでしょうか。

【シルバー人材センター】

業者が定期的に回ってきており、任せています。

【委員】

業者も毎日回っているわけではないですね。

【シルバー人材センター】

はい。

【委員】

先ほども言いましたとおり、支出イコール指定管理料とそれ以外の収入となります。費用として必要なものは積極的に使っていただく。安全管理等は当然必要だと思うのですが、できれば収入面もなるべく努力していただいて、指定管理料を減らして頂ければと思います。

【シルバー人材センター】

なるべく収入を増やすということもありますし、会員の中に職人のOBの方もおられますので、修繕も大規模な修繕ではなくて、ペンキを塗り直すなり、ベンチの上の板を新しい物に変えるといったことは、シルバー人材センターの中で出来るという点をもって、その辺りのコストはかなり削減をさせて頂きながら維持管理させて頂いていると思っています。

【委員長】

1、2点だけ良いでしょうか。例えば、芝生の年間の管理回数とか一日の巡視の回数と人数とかそういったものを取りまとめた管理マニュアルはお作りになられますか。あとは防災マニュアル等も。二人で巡視、朝と夕方の方の2回回って、チェック項目を決めておいて、チェックを受けてということを経日積み重ねて、反省点がどこでという風にPDCA回していくという大げさですけど。少し気になったのが、週に何回かチェックしていますでは困るのです。週何回、何曜日にどこのチェックをという風に定期的にやっていくことだ

けでは足りないときも出てくるのです。何か会員の方々にお願いされているということがあればお願いします。時間もないので、やっているかないないかで結構です。

【シルバー人材センター】

従事者の方々は日報とあって園内のチェックポイント、トイレも含めまして毎日回って作成して頂いています。1人で2回、午前と午後です。先ほど申しました夜間をお願いする方は、土曜日と日曜日に作成して頂いています。異常があればそこに書いて頂いています。

【委員長】

あとは植物管理や清掃の管理マニュアル等、詳しいことまでは難しいと思いますが、例えば遊歩道の横は年5回だが、広場の横は年7回等、そういうことは決めていますか。それとも、伸びてきたから刈るのか。その辺りどの様にされているのかだけお願いします。

【シルバー人材センター】

芝生については年3回。他については巡回中に、適宜となります。

【委員】

よろしいでしょうか、1点だけ。先ほどの話で、会員さんが1700人いらして、それぞれが色々な技術をお持ちだということですが、そういった方の個人の情報とかも含めて、情報管理というのはすごく難しい問題だと思います。その辺り気を付けてやっているということは書かれているかと思いますが、具体的にどういった形で管理されているか、その辺りを聞かせて頂きたい。

【シルバー人材センター】

会員の情報管理ということでよろしいでしょうか。

【委員】

その通りです。

【シルバー人材センター】

パソコン上でほとんどの情報は管理しています。パソコンはセキュリティーが入っていますし、外部とは繋がっておりません。あと個人情報流出の件もありますので、退会された時の処理であるとかは、個人情報の処理マニュアルに則って処理しています。

【委員】

わかりました。

【事務局】

これにて質疑応答を終わらせていただきます。審査結果につきましては10月下旬にお知らせさせていただきます。では、これにてプレゼンテーション及び質疑応答を終了させていただきます。シルバー人材センターさんありがとうございました。

《シルバー人材センター退出》

【委員長】

それでは各委員の第2次審査の最終評価を決定する前に20分程度意見交換の時間を設けたいと思います。2次審査における得点の決定は意見交換後に行いたいと思いますので、よろしく願いいたします。感想でも結構ですし、資料4で2次審査の評価項目がございますがこれに関連する内容で結構ですし、ここが良かったとか、ここは少し足りなかったというお話でも良いです。何かお気づきの点があれば委員の皆様から頂戴出来ればと思います。

【委員】

地域の方との連携というのがかなりキーワードになっているような気がします。今まで地域との連携を図ってきたということをしきりに言われていて、今後の課題も地域との連携の向上についてでした。その地域との連携という部分の中身をなかなか理解することが難しかったというのが感想として一番大きなところです。

【委員長】

ありがとうございます。地域連携というのはなかなか難しい話かと思います。公園で指定管理を競争で取っていくためには今までの実績だけでは足りないという市町村がほとんどです。さらに言えば、評価についてAを頂いているという話がありましたが、Aが続いたらAではないという判断をする市町村が結構多く出てきて、Aを1回取って、そのまま行くのであればそれはもう普通になってしまうのです。ですから、さらにSとかもっと上を目指してどんどん取り組んでいただきたいという思いがあります。結構賑わっているようですし、おそらく映像を見たら、すごい人数が来ているのでしょうか。ですので、頑張っていることはわかると思います。しかし、それに惑わされるのも怖くて、もう少し欲しいと思う部分はきっとあると思うのです。それが、皆様が気にされている配置人数の部分かと思います。イベント時にはボランティアも含めてしっかり体制を整えています、という風なことを言っていた方が、賑わっているシーンを見せていただくよりも大事か

と思いました。こういう感じで体制を整えていると、また、組織運営をしていて地域等にもお声掛けをしていて、地域の輪を広げるために頑張っているという様な提案がもっとあれば、個人的には点数アップかと思っています。どこでも、ということではないですが、公園ではよくやられているイベントかなという風に思いました。でも、頑張っているなどという風には思いました。人を動かしたり、ご高齢の方の社会的参加、ボランティアといった意味で、公園管理をここに任せることによって地域の活力には繋がるかなとは思いますが。しかし、JVで専門業者が入ってないので、公園の自然や植物、池の生物の管理や、管理の難しい特殊庭園である菖蒲やバラ等、それらは全て外注なのです。自分達で管理するよりは外注に出してもらった方が綺麗になって良いとは思いますが。そのあたりでいうと、本当は造園関係の組合が入ってJVを組まれた方が安くなるのか、はたまた外注に出す方が安いのか、そこまでの判断を私は出来ませんが、その辺をどう判断しているかというところで、専門の業者じゃなくてもある程度維持管理ができて地域の人々の雇用機会が増してというのは悪くはないと思います。その辺で何かご意見がありましたらお願いします。

【委員】

委員長おっしゃったように、人数は常駐の方がいて、他の方も5名なり4名なり従事しているようで、その方がどれだけしっかりと午前、午後でチェックしているかということもあります。あと遊具等も目視していますと言っていましたが、弁天池はほとんど手で触れることが出来る遊具しかありませんし、子供が遊ぶ木の遊具等は1つ1つ手で叩いてといった点検も毎日できると思います。目視では少し曖昧なので、人がいるのであればもう少ししっかりと確認して欲しいと思いました。それで、一応何されているのですかと聞きましたが、あまり明確な答えではなかったのです。常勤している以上、それに見合った何らかの活動が無いとは思いました。また、利用の増加やサービス向上について、言われていることは凄く素晴らしいことだと思います。ただ、春と秋のイベントの他、諸々開催しているとのことでしたが、日々の活動というところで、利用者の増加という部分が今回ではわからなかったなという感じがしております。

【委員長】

今お話しがありましたように、私が知っている他の公園ではずっと座っている事務所長がいらっちゃって、その他作業員の他に、ちょうど真ん中に一人、作業の内容等も全て把握している中間管理職的な方が一人いました。今回の常駐の方が、作業員と一緒に回って把握しているかという部分については疑問なところです。従って、本当はもう一人人材が欲しいところです。人件費の問題もありますが。そういった方が活躍されると、現場が分かって指示も出せるという体制が作れると思うのですが。現状は特に問題も出ていないようで、頑張っているのだと思うのです。もしかしたら、そういう方が会員の中にいるのかもしれないですが、そこまでは今日聞けませんでした。

【委員】

やはり少し体制が危ういといえますか、会員さんがほとんど実働されているということで、あくまで請負契約で雇用ではありません。シルバーということで高齢者でもありますので、委員長おっしゃるようにもう一人人材が欲しいなと感じました。木製遊具についても、事故があると困りますので、もう少し体制を強化してほしいと感じました。

【委員長】

チェックして、市のほうに伝えないといけないかもしれませんね。修繕をどちらで行うということもありますので。

【委員】

遊具の件については、本来は門真市で大規模改修しなければならない部分もあるのですが、そういう意味では指定管理者様のほうで上手く延命して頂いているということもございます。申し訳ありません。しっかり門真市としても受け止めて、対応していきたいと思っております。

【委員】

真ん中の方がいてなくても、経費のことを考慮すれば、事務所長が積極的に回られても良いと思います。回っておられるかもしれないですが。ゴミを拾っているとかだけだと、どうなのかと思いました。

【委員長】

何回かという様にあやふやな答えだったのが気になったところです。週1回は必ずとかでしたら良いのです。週2回程度とかだと表現が変わってきますので。その辺りが気になったところです。しかしながら、総じて今までトラブルも無く、賑わいもある様です。ただどうしても特殊庭園等が私として気になる所ではありますが、良かれ悪しかれ外注して任せているということですので。

【委員長】

ありがとうございます。それでは意見交換の時間はこれで終了させていただいて、2次審査の評価に入りたいと思います。資料4に評価項目がございますが、ここにABCDEでご記入いただいて、事務局にご提出いただきたいと思います。時間は5分から10分程度でお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。

《委員採点中》

【委員長】

それでは事務局は集計表を回収し集計を始めてください。これより集計結果が出るまで約10分程度休憩に入ります。どうもありがとうございます。

《事務局による集計》

【委員長】

それでは委員会を再開させていただきます。まず集計結果につきまして事務局より報告をお願いいたします。

【事務局】

それでは集計結果をご報告いたします。第1次審査、得点590点、第2次審査、得点150点、合計740点でございます。以上、集計結果の報告を終わります。

【委員長】

ご報告ありがとうございます。集計結果が出ました。それではこの結果を受けて、委員の皆さまにご意見を頂戴したいと思います。1次が590点で2次が150点、7合計が740点で満点が1200点でございます。パーセントで言いますと61.7%、62%程度だというご報告でございます。ご感想なり、ご意見なりがありましたらお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。大学の点数でいいますと、点数は良くはないですが、単位はとれるかということで、60以上でございます。何かご感想なりいかがでしょうか。

【委員】

これまでも、指定管理をしていただいているので、基本的には能力は有していただいているという認識はしております。ただ先ほどのプレゼンテーションでの質疑のやりとりの中でも、多くの専門的な知識を持った会員の方を抱えていらっしゃるようなので、その方を今後はどう上手くシステムチックという失礼なのですが、機動的にといいですか、マニュアル等を整備していただいて、どの会員さんが来られても同じレベルで維持管理、また、さらに向上して垣根仕組みを組み立てていくことを期待して、引き続きこの指定管理をお願いしてもどうかと思いました。以上です。

【委員長】

ありがとうございます。委員の皆さまもそうですし、私も申し上げましたように、深く聞いていきますと、まだマニュアルが整備されてないとか、少し軽く取り扱っておられるような項目もありそうな感じもしました。ご担当課にはご苦勞をかけるのですが、いろいろご指導いただきながらさらに充実させていって、次年度へ向かう。本市におきましても

1年毎に報告書を出されていると思いますので、その時にご担当者等、面談の中で御指導いただくということを前提にしたご意見かと思えます。私もそうかなと思えます。これはこの委員会で指定管理者候補として良いかどうかということ、得点を用いて決めるという会議だと思えます。点数を報告してあとは市が判断してくださいではなくて、この点を用いて選定委員会としてこれは候補者として妥当かどうかというご意見で、最終的に市に報告するという会議だと思えます。お一方の委員からは、候補者としていかがかという意見かと思えますが、他の委員の皆様いかがでしょうか。

【委員】

パーセントでいうと61.7%、点数的にも何とか大丈夫かなという感じに思っておりますし、過去の実績からも何かあったということはありませんので、今後、ちょうど委員長がおっしゃったように、1年1年どういうふうに伸びていくかということを見守りながら今回は引き続きやっていただいていた方がいいかと思えます。

【委員長】

本日の配点を見ましても、項目でいいますと、「公園施設の効用を最大限に発揮させるものであるか。」に対しまして5-(1)、5-(2)、5-(3)とあるわけですが、(1)の「利用者の増加を図るための具体的な手法及び期待される効果」につきましては、BもしくはC、つまり普通以上であるということでございますね。5-(2)、「サービスの向上を図るための具体的な手法及び期待する効果」につきましてはBからDとなっています。特にこの項目に関しましては、やはり普通、もしくは低いという評価もございますので、サービスの向上につきましてもさらに充実した取り組みというものを担当課として御指導いただく必要があるかというふうに判断できます。また、5-(3)「公園施設の維持管理及び改修整備の内容、的確性及び実現の可能性」につきましては、普通もしくはさらに頑張っていたきたいというような結果です。本件に関しましては特に大事な維持管理の状況でございますので、この辺は安全性にもかかわる話でございますので、これもご担当課としてはもっと積極的に御指導いただくというふうな評価結果になっております。この評価結果を鑑みながら担当課としてしっかりとご指導賜ればというふうに読み取れるかと思えます。委員の皆様、いかがでしょうか。

【委員】

厳しい点数をつけたのですが、すごく頑張っているのもよくわかります。だからこそ、より良くなってほしいという意味で厳しくつけさせて頂きました。今回の各委員からの質問で、課題等の問題が浮かび上がってきたのかなとも思えますので、そのあたりを市とも調整頂きながら、より良いものに、現状維持ではなくてより良いものを目指して頂ければというふうに考えております。

【委員長】

ご意見ありがとうございます。

【委員】

最終的な点数というのは、申請者様の方に公表されるのですか。恐らく今日のプレゼンテーション等の状況も含めて、点数は理解していただけるのではないかと思います。やはり皆さん言われたように、この先に変えないといけないところというのを理解していただいて、管理のマニュアルと防災のマニュアル、こういったものをこれから先作っていく必要があると思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

【委員長】

有難うございます。防災マニュアルについて、防災責任は市のほうに最終的な監督責任があろうかと思いますが、一緒になって作るということが必要になってくると思います。これをしっかりしておかないと、最近少し怖いので是非広域避難地的な扱いと、日常の職員体制ですね、そのあたりも含めてぜひよろしくお願ひしたいと思います。今までの5年間で出来なかったと思うので、この5年間で期待しているとの委員の皆様からの意見だと思います。よろしくお願ひいたします。

【委員長】

それでは、1次審査及び2次審査の合計得点と委員の皆様からいただきましたご意見も集約する形で、指定管理者の候補者を公益社団法人シルバー人材センターと決定したいと思いますが委員の皆様よろしいでしょうか。

【各委員】

異議なし

【委員長】

異議なしということでございますので、公益社団法人シルバー人材センターを決定し市長に答申させていただこうと思います。最後に今後の流れにつきまして事務局より説明をお願ひいたします。

【事務局】

それでは、今後の流れにつきましてご説明させていただきます。まず、指定管理者候補者を市長に答申してから、指定管理者として決定されるまでの手続きについてご説明します。本日の総合評価により指定管理者候補者として選定された団体を市長に答申し、答申後に申請団体に対して、選定または不選定の通知を行うとともに、12月に開催される門真市議

会平成 30 年第 4 回定例会に議案提出し議決を求めます。この議決をもって候補者は指定管理者として決定されます。次に、会議録の公開につきましてご説明いたします。第 1 回から第 3 回までの会議録につきましては、門真市議会平成 30 年第 4 回定例会において指定管理者の候補者が議決された後に公開したいと考えております。公開前に委員の皆様にお送りさせていただきますのでご確認をお願いします。

【委員長】

有難うございます。ですので、委員の皆様につきましては、これまでの審議内容や決定内容につきましては、市議会の終了後、承認をいただいた後は他の方々にもお話して頂いて結構ですが、それまでは秘守して頂くよう、よろしく願いいたします。ただいま今後の流れについて事務局より説明がございましたが、何かご質問、ご意見ございますか。それでは。以上をもちまして本日の議事はすべて終了いたしました。委員の皆さんにおかれましては議事進行に非常にご協力賜りまして、ありがとうございます。それではこれをもちまして議長を降壇させていただきます。

【事務局】

委員長、長時間にわたる議事進行 誠にありがとうございました。委員の皆様方におかれましては、大変お忙しい中貴重なお時間をいただきまして、本市の弁天池公園に相応しい指定管理者候補者の選定をしていただきましたことを事務局一同、心からお礼申し上げます。まことにありがとうございました。それでは、これをもちまして第 3 回門真市弁天池公園指定管理者候補者選定委員会を閉会いたします。